

## 「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」

## ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 「真の学力」「国際社会で活躍できる力」を育む教育課程の編成、実施及び改善・充実を図り児童の能力を伸ばす。

## ＜本年度の学力向上策等＞

- 1 新学習指導要領に対応する教育課程の編成及び実施 (Grit)
  - ・児童の資質・能力の育成を目指した年間指導計画をもとに、教育活動を確実に実施する。
- 2 「私にもできた。わかった。もっと学習したい。」という授業の研究・実践 (Grit)
  - ・「よい授業」集計システムを活用して各教科の指導を振り返り、主体的・対話的で深い学びを実現させることで、児童の資質・能力を育成する。
  - ・算数の少人数指導を充実させるなどきめ細やかな指導を実施し、学力向上を図る。特に、昨年度さいたま市学習状況調査によって課題が見られた「量と測定」領域の指導を重点的に行う。
- 3 市教育委員会研究指定[よい授業][道徳科]の研修を通じた授業実践による指導力の向上 (Grit)
  - ・平成29・30年度の研究成果を生かし、「考え、議論する」道徳の授業をさらに充実させる。
  - ・三室小学校版「道徳よい授業アンケート」をもとに指導を振り返り、指導力の向上を図る。
- 4 「グローバル・スタディ」の授業時数増加に係る研修及び実践 (Global)
  - ・週あたりの授業時数を1時間増やした日課を本年度も継続し、木曜6校時を「グローバル・スタディ」の探究・習熟の時間に位置づける。
  - ・G・S専科、ALTによる専門的な指導をさらに充実させる。
- 5 授業公開日で全学級「道徳科」「特別活動」の公開 (Growth)
  - ・「道徳科」「特別活動」における、児童の、多様性を受け入れて他者と協働する姿や、「考え、議論する」姿を全学級が保護者や地域に公開することで、本校の教育活動に対する理解を図る。

## ＜本年度の振り返り＞

- 「よい授業」集計システムを活用することで、教職員が積極的に授業改善に取り組むことができた。研修として取り組み始めた平成29年度と比較して、4つの因子すべての値が上昇し、取組の成果として表れている。
- G・S専科、ALTによる指導を充実させたことで、子どもたちが生き生きと学習に取り組み、主体的に外国語を用いたコミュニケーションを図ることができた。また、木曜6校時に、全学級で探究・習熟の時間を位置付けたことで、じっくりと学習に取り組むことができた。
- 学校全体で道徳教育の研修に取り組み、各学級で「考え、議論する」道徳の授業を通して、子どもたちが物事を多面的・多角的に考えることができた。10月には研究発表会を開催し、取組の成果を発表することもできた。
- ▼さいたま市学習状況調査の同一集団経年比較の結果、国語・算数ともに偏差値の低下がみられ、依然基礎学力に課題があるといえる。